

SDGs 時代における科学技術のあり方  
—ブダペスト宣言から 20 年—  
第 7 回研究会  
(2019 年度第 4 回)

1. 日時 2020 年 3 月 11 日(水) 15:00~17:00
2. 場所 ZOOM 利用、オンラインによる研究会
3. 出席者 ※敬称略  

代表者 有本 建男	国際高等研究所副所長、政策研究大学院大学客員教授、 科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー
大竹 晓	東京大学東京カレッジ副カレッジ長・未来ビジョン研究 センター特任教授
隠岐 さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授、 外務大臣次席科学技術顧問
小寺 秀俊	理化学研究所理事、OECD 科学技術委員会日本代表・副議長
駒井 章治	奈良先端科学技術大学院大学先端科学研究科准教授
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科健康開発科学教授
宮野 公樹	京都大学学際融合教育研究推進センター准教授
国際高等研究所事務局	
三石 祥子、森口 有加里	
4. 議題と進行  
1) 報告書について : 15:00~16:00  
2) 研究会の今後の方向について : 16:00~17:00
5. 内容  
議題 1)について  
○報告書の全体テーマと目次構成（資料 1）に関する意見交換と確定  
○報告書原稿ご執筆に関する事務的事項等について（資料 2）により事務局より説明  
議題 2)について  
○2020 年度の研究会の予定として、ほぼ決まっていることは以下の二点  
① 5 月末原稿（日本語）締切、その後編集、秋公開  
② 9~12 月英語化（機械翻訳とポストエディット利用）、2020 年度中に公開  
○2020 年度の本研究会の活動の具体化  
(試案) • グローバルヤングアカデミー2021 年度日本招致への支援、日本版ゴードン  
コンファレンスの試行  
• 科学と哲学と芸術の対話、関西万博準備プロセスへの貢献  
；他の組織、海外との連携等  
• 2021 年度以降の高等研の方向検討への寄与
6. 資料  
1) 報告書の内容について  
2) 原稿ご執筆に関して  
3) 高等研全体の動き  
参考 1 : 科学技術基本法の改正のポイント  
参考 2 : 日刊工業新聞記事